



## 道路ネットワークの確実な構築

長野県道路整備期成同盟会 会長 佐々木 祥二

長野県内道路の整備改良の促進を目的とする本同盟会の活動に対しまして、日頃より深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月には、全国道路利用者会議の73回目となる全国大会を、実に25年ぶりに長野県で開催することができました。全道利の古賀会長や国土交通省の丹羽道路局長をお迎えし、全国から多くの自治体関係者・ユーザーを集めたこの大会は、本同盟会として準備を進めてきたものであり、3コースの道路視察を含め盛会のうちに終えることができました。お力添えをいただいた会員の皆様にあらためて御礼申し上げます。

また、5月の「命と暮らしを守る全国大会」、11月の「安心・安全の道づくりを求める全国大会」にあわせて実施された要望活動には、多くの県内市町村長の皆様に御参加いただき、全道利全国大会の県内開催も相まって、長野県内の道路整備の機運を大いに高めることができたと考えております。

さて、最近「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間後の新たな財源確保、資材価格の高騰への対応等が課題となっており、道路整備に要する予算の十分な確保に向けて引き続き取り組んでいく必要があります。

こうした中、国の令和6年度道路関係予算において、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく取組を加速化・深化させるため、令和5年度補正予算と合わせて、重点的かつ集中的に対策を講じる財源が確保されたことは、道路整備に対する我々の強い思いが反映されたものであり、ありがたく感じています。

今後は、こうした財源も有効に活用しながら、県土の骨格を形成する高規格道路から生活に密着した市町村道に至るまで、県内の道路ネットワークを確実に構築していくことが重要と考えています。

本同盟会では、災害に強い道路整備と、道路施設の老朽化対策が着実に推進できるよう、要望活動や広報活動に努めてまいりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

長野県建設部 道路建設課

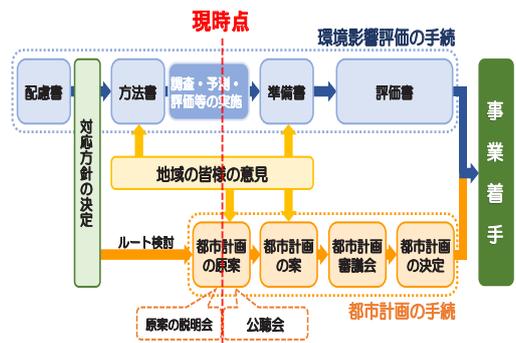
### 中部横断自動車道(長坂～八千穂)について

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

唯一の未整備区間となっている長坂～八千穂(約40km)については、令和5年7月に国土交通省から長野・山梨両県へルート(事業予定者案)の提供がありました。これを受け、長野県では、関係機関と連携して環境影響評価及び都市計画の手続きを進めております。



中部横断自動車道 長野県区間(山梨県境～八千穂高原IC 約28km)のルート案



環境影響評価及び都市計画の手続きの流れ